

JIS

建築用真空断熱材

JIS A 9529 : 2020

令和 2 年 2 月 20 日 制定

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	伊 藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
(委員)	石 川 裕	一般社団法人日本建設業連合会 (清水建設株式会社)
	鹿 毛 忠 継	国立研究開発法人建築研究所
	加 藤 信 介	東京大学名誉教授
	橘 高 義 典	首都大学東京
	佐 藤 彰 芳	国土交通省大臣官房官庁営繕部
	清 野 明	一般社団法人住宅生産団体連合会 (三井ホーム株式会社)
	西 野 加奈子	一般社団法人建築・住宅国際機構
	原 智 彦	断熱・保温規格協議会
	藤 野 珠 枝	主婦連合会 (藤野アトリエ一級建築士事務所)
	真 野 孝 次	一般財団法人建材試験センター
	村 川 まり子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 (鎌倉市消費生活センター)
	本 橋 健 司	一般社団法人日本建築学会 (芝浦工業大学名誉教授)
	山 崎 徳 仁	独立行政法人住宅金融支援機構

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 2.2.20

官 報 掲 載 日：令和 2.2.20

原案作成協力者：一般財団法人建材試験センター

(〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町 1-10-15 JL 日本橋ビル TEL 03-3527-2133)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：建築技術専門委員会 (委員長 伊藤 弘)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail:jisc@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 種類	3
5 性能	3
5.1 COP の見掛けの熱伝導率及び熱抵抗	3
5.2 製品の見掛けの熱伝導率及び熱抵抗	4
6 寸法	4
6.1 一般	4
6.2 幅及び長さ	4
6.3 厚さ	4
7 外観・材料	5
8 試験方法	5
8.1 試験体寸法及び試験体数量	5
8.2 見掛けの熱伝導率及び熱抵抗	5
8.3 幅及び長さ	7
8.4 厚さ	7
8.5 外観	8
9 検査	8
10 表示	8
11 報告書	9
附属書 A (規定) 線熱貫流率	10
解 説	13

まえがき

この規格は、産業標準化法に基づき、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

建築用真空断熱材

Vacuum insulation panels for buildings

1 適用範囲

この規格は、シリカ粒子又はグラスウールを芯材とする、建築物に使用する真空断熱材（VIP）について規定する。ただし、冷凍倉庫などの特殊な温湿度環境下で使用する真空断熱材、並びに住宅及び建築物の設備機器、配管などに使用する真空断熱材は除く。

注記 建築物に使用される VIP には、VIP の縁辺部を折り返していない製品もある。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補も含む）を適用する。

JIS A 0202 断熱用語

JIS A 1412-1 熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法－第 1 部：保護熱板法（GHP 法）

JIS A 1412-2 熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法－第 2 部：熱流計法（HFM 法）

JIS A 1487 真空断熱建材の断熱性試験方法

JIS A 1488 建築用真空断熱材の見掛けの熱伝導率の長期変化試験方法

JIS B 7503 ダイアルゲージ

JIS B 7507 ノギス

JIS B 7512 鋼製巻尺

JIS B 7516 金属製直尺

JIS Z 8126-1 真空技術－用語－第 1 部：一般用語

JIS Z 8126-2 真空技術－用語－第 2 部：真空ポンプ及び関連用語

JIS Z 8126-3 真空技術－用語－第 3 部：真空計及び関連用語

ISO 10211, Thermal bridges in building construction－Heat flows and surface temperatures－Detailed calculations

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS A 0202**、**JIS A 1487** 及び **JIS Z 8126-1**～**JIS Z 8126-3** によるほか、次による。

3.1

真空断熱材、**VIP** (Vacuum Insulation Panel)

図 1 に示すような、芯材を被覆材で覆い、被覆材に内包される空間（以下、内部という。）を真空領域にした断熱材。内部に吸着剤を含む場合もある。